

# 事務事業評価シート(平成21年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
06114	交通安全事業	建設水道課	建設管理係	増澤秀行	中村京子
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 18 日	連絡先(内線)	2165
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	0211	交通安全対策事務	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成
		節	(コード選択)	3節	町の活動を支える交通体系を整備する
		項[基本施策]	(コード選択)	332	生活交通網等の整備
		主な取り組み	(コード選択)	3322	生活交通対策の推進
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町に住むすべての人及び辰野町を利用するすべての人

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

交通安全施設を整備し、交通安全の啓発活動を行うことにより、運転者も歩行者もすべての人々が思いやりの心を持ち、安心で安全な社会をつくるために、交通事故の減少及び死亡事故ゼロの町を目指します。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 交通安全施設(道路防護柵、反射鏡、照明等)設置及び補修
- 交通安全運動の推進(毎月の早期街頭指導、交通安全運動期間中の各種活動、ホームページによる啓発活動)
- イベントにあわせた交通安全啓発活動(ふれあいウォーク、子ども自転車大会)
- 新入学児童の安全を願い、黄色い帽子の配布及び交通安全協会の協力によるストップライン引き

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	交通安全施設の設置・修繕申請箇所数	18	21	20		20
	説明	交通安全施設の設置・修繕を行った箇所数	目標値設定の根拠 前年度実績から見込む				
②	指標名	交通安全運動活動数	32	32	32		32
	説明	交通安全啓発活動の回数	目標値設定の根拠 前年度実績から見込む				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	辰野町における死亡事故件数	1	0	0		0
	説明	辰野町における死亡事故件数	目標値設定の根拠 死亡事故ゼロを目指す。				
②	指標名	交通安全施設の設置進捗率	100	100	100		100
	説明	設置件数/申請件数	目標値設定の根拠 申請件数の設置を見込む。				

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度						
			決算	決算	見込み	見込み						
		(千円)	7,344	8,968	7,897	7,967						
対前年比		%		122.1	88.1	100.9						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			0	870	150	150						
B) 一般財源(税金)			7,344	8,098	7,747	7,817						
①事業費		(千円)	5,610	6,991	5,930	6,000						
対前年比		%		124.6	84.8	101.2						
②人件費の概算		(千円)	1,734	1,977	1,967	1,967						
対前年比		%		114	99.5	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.02 0.02 0.02	0.08 0.08 0.08	0.12 0.12 0.12	0.00 0.00 0.00	0.22 0.22 0.22	1,734	1,977	1,967	1,967	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

指標化

**(6) 項目別評価 [Check]**

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 伊那警察署交通課と設置場所等の打合せ 辰野町交通安全協会との連携
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 啓発活動の折に把握。各区から要望を受ける。

**(7) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止

**〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)

**事業改善の経過**

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

計画的な委託が出来た。  
 ①各地区より要望があった箇所の交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)は、設置が無理な場所以外は設置していく。  
 ②H20. 4月の死亡事故後高齢者の事故防止に重点的に活動し、H21. 8. 24死亡事故ゼロ500日を達成。現在死亡事故ゼロの記録を更新中です。

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

①各地区より要望がでたら速やかに検討し設置、修繕等の対応をする。  
 ②H22. 1. 6が死亡事故ゼロ1000日達成日になる。死亡事故ゼロ更新のために高齢者の事故防止を重点的に行う。また、子どもの事故防止のために通学路の点検及び、横断旗を新しくする。

22年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

辰野町の21年度の事故件数は、前年対比で減少し交通安全事業の効果はあった。死亡事故ゼロ1,000日に向けより一層の交通安全対策を行ってゆく。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大     D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止



上記 a~e を選択